

製品名: CTDSP1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09496**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	30kDa

抗原情報

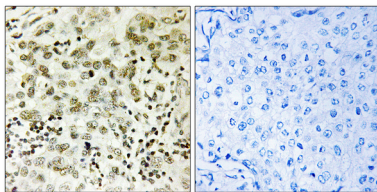
遺伝子名	CTDSP1
別名	CTDSP1; NIF3; NLIIF; SCP1; Carboxy-terminal domain RNA polymerase II polypeptide A small phosphatase 1; Nuclear LIM interactor-interacting factor 3; NLI-IF; NLI-interacting factor 3; Small C-terminal domain phosphatase 1; SCP1; Small CTD ph
遺伝子 ID	58190.0
SwissProt ID	Q9GZU7
免疫原	抗血清はヒト CTDSP1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

背景

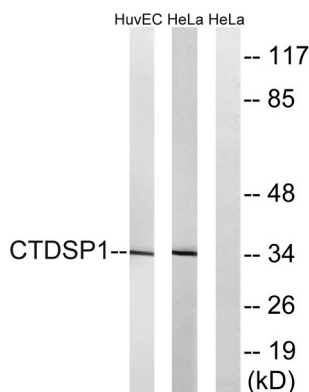
CTD 小分子ホスファターゼ 1 (CTDSP1) ホモサピエンス この遺伝子は、核ホスファターゼの小 C 末端ドメインホスファターゼ (SCP) ファミリーのメンバーをコードします。これらのタンパク質は、RNA ポリメラーゼ II の C 末端ドメインのタンデムヘプタペプチドリピート内のホスホセリン 5 を特異的に脱リン酸化することにより、転写制御に関与します。コードされているタンパク質は、神経細胞以外の細胞における神経遺伝子サイレンシングに関与し、骨芽細胞分化を阻害する可能性もあります。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。 [RefSeq 提供、2011 年 10 月]、触媒活性:リン酸化タンパク質 + H(2)O = タンパク質 + リン酸類似性:1 つの FCP1 相同ドメインを含むサブユニット:LDB1 と相互作用する可能性がある、組織特異性:普遍的に発現し、脾臓、肺、胎盤で最も高く発現する、

研究分野

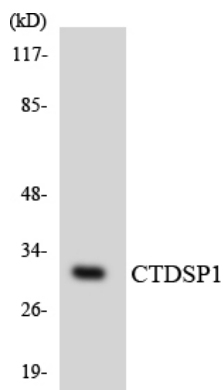
画像データ



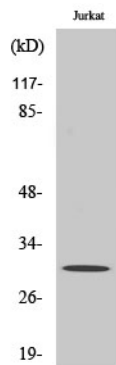
CTDSP1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



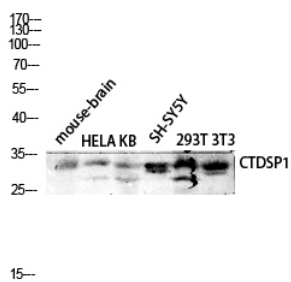
CTDSP1 抗体を用いた HeLa 細胞および HUVEC 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CTDSP1 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



1: 1000 に希釈した CTDSP1 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。



CTDSP1 抗体を用いたマウス脳 HELA KB SH-SY5Y 293T 3T3 の溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:1000 に希釈した。